



# 青葉みらいづくり大学校 2024

第1回 ヨコハマの地域活動の「今」を知り「これから」を語り合おう！

日 時：10月5日（土）10:00～13:00

場 所：青葉区役所 4階会議室

日 程：令和6年10月5日・10月19日・11月9日  
11月30日・12月21日（土曜日/全5回）

主 催：青葉区役所・NPO 法人まちラボ

協 力：青葉区連合自治会長会

講 師・コーディネーター：大越 雅美  
(NPO 法人まちラボ代表理事)

## 第1回プログラム

- 開講式 式辞・プログラム紹介
- 講義
- 自己紹介ワーク
- グループワーク



## 青葉みらいづくり大学校 2024 概要

### テーマ

地域活動の「できたらいいな」を実現しよう！

青葉みらいづくり大学校 2024（以下、みらい大）は、地域活動の裾野を広げるために「参加したくなる」地域活動について探求し、「できたらいいな」を実現するための講座です。地域活動の楽しさや悩みを共有しながら、受講生同士の交流を深めた第1回、事例発表からたくさんの刺激を受けた第2回、学生と語り合い、お互いの価値観に触れた第3回、地域で実現したい事業プランを形にしていた第4回、そして地域の方々へ「マイプラン」を発表した第5回。5回の講座を通じて、自分たちがいいなと思う地域について学びを深めることができました。

できたら  
いいな！

### Check !

- 地域活動に関心を持つ人を増やしたい
- 地域のつながりを深めたい
- 多世代交流を図りたい
- 地域の魅力を伝えたい
- 地域が好きな人を増やしたい
- 地域活動を楽しむ人を増やしたい

## 開講式

久保田学長（青葉区連合自治会長会会長）、中島副学長（青葉区長）からご挨拶があり、来賓の方から応援メッセージをいただきました。また、受講生から受講の抱負を発表しました。



久保田学長からご挨拶



抱負を発表する受講生の皆さん

## 第1回 概要

みらい大で一緒に学ぶ仲間と出会う。

横浜市の地域活動の「今」を知り、「これから」地域で実践したいことについて話し合う。

### 講義1：地域活動の今を知りこれからは生かそう

- ・地域活動とは
- ・自治会町内会の主な活動と課題
- ・社会の変容と地域活動
- ・持続可能な地域活動を実現するために…
- ・今年のみらい大
- ・マイプランで描く地域活動の未来



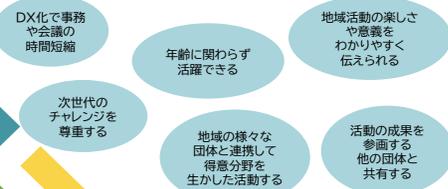
#### 社会の変化と地域活動

社会の変化に伴う、ひとり暮らしや女性・高齢者雇用の増加などにより地域コミュニティに関わる機会や時間が減少しているのではないが

出典 「地域コミュニティに関する研究会報告書」

横浜市の地域活動の取組とその課題、課題の原因と想定される社会や市民意識の変化についてデータを確認しながら仮説を立て、地域活動への参加が難しくなっている状況を共有しました。住民が「参加しやすい」持続可能な活動にするためのアイデアや、昨年度までのみらい大生のマイプラン事例をもとに、マイプランを作成する中で取り入れていきたい視点も提案しました。

#### みらい大卒業生が教えてくれた 参加したくなる地域活動のコツ



### 講義2：みらい大生のための青葉区データ紹介

青葉区を知るために、区の様々な統計情報などを集めた「なるほどあおば」「青葉区区民意識調査」「青葉区地区別データ集」「青葉区まちづくり指針」などのデータ概要と検索方法を紹介しました。

#### 自己紹介ワーク：私の取扱説明書

得意なこと、苦手なこと、趣味などを書いた「私の取扱説明書」を使い自己紹介ワークを行いました。受講生の意外な一面や共通点など、お互いを知ることができました。

#### グループワーク：自分の住む地域について話そう

地域活動の楽しさ、それぞれの地域で課題だと感じることを、講座で取り組みたいことを書き出し共有しました。

#### ■ 受講生の意見（抜粋）

##### 1. 地域活動で感じる喜び・楽しさ・やりがい

- ・いろいろな人と知り合える、ご縁ができる
- ・「ありがとう」の感謝の言葉
- ・お祭りブースの企画の成功
- ・いろいろな人の協力があり支えられている地域だと感じた



意見をふせんに書き出し！

##### 2. 地域の課題になっていることや取り組みたいこと

- ・参加する人が固定化している。少しずつでも参加の機会を作る、運営のやり方やルールを柔軟に変える
- ・若い世代は多忙で自己完結していることが多いが、声を出せる機会を作る
- ・社会が変容している中で、置き去りにされている人の役に立ちたい

